

(様式1)

## 環境配慮検討書

教生第1469号  
平成14年1月7日

環境管理監会議 部会長 様

ｽｰ・生涯学習課長

三重県環境調整システム推進要綱第4条の規定に基づき提出します。

対象事業の名称	三重県美術館増改築工事
担当課名	ｽｰ・生涯学習課

1 事業の計画の名称、目的及び内容

(1)名称	三重県立美術館増改築工事	
(2)目的	開館20年を経過し、収蔵品の増加に伴う施設の狭隘化及び空調設備等の老朽化社会情勢、経済情勢の変化に伴い美術館に対する県民ニーズに対応するため今回増改築を実施するものである。	
(3)事業主体	三重県教育委員会	
(4)計画内容	①計画地の位置	津市大谷町11番地
	②建物・施設等の概要 (用途、規模、面積、配置等)	美術館 地下1階 地上2階 搭屋1階 SRC造 一部RC造 S造 増築 2,387㎡ (2,441㎡) 改築 885㎡ (906㎡)
	③用水の使用計画	飲料水は上水を利用 記念館増築部にルーフドレンを地下ピットに貯留する雨水利用システムを計画し、増築部便所洗浄水系統、屋外散水系統に利用する。
	④エネルギーの使用計画	
	⑤雨水、汚水の排水計画	雨水：建物の雨水は合併浄化槽で処理、それ以外は水路から下津部田池に排水 汚水：水路から下津部田池に排水
	⑥道路・交通計画	増改築工事のため変更なし
	⑦工期	ア)着工の予定時期 イ)完工及び供用開始の予定時期
(5)関連事業計画	該当なし	
(6)その他	該当なし	

## 2 計画地の社会的条件の現況等

(1) 計画地の社会的条件の現況	① 交通の現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画地の位置 計画地は、紀勢本線及び近鉄名古屋線津駅から西方約 800m の距離にある。</li> <li>・交通アクセス 津駅より徒歩約 10 分、津駅西口より三重交通バス（西団地循環等行き 2 分）で美術館前下車</li> </ul>
	② 土地利用の現況	記念館教育棟を増築する箇所は、現在芝生広場として利用している。又収蔵庫棟を増築する箇所は、現在職員用駐車場として利用している。
	③ 水域利用の現況	当該地周辺の水域利用はありません。
	④ 生活関連施設の現況	美術館に隣接して北東側に三重県総合教育センターがあり、北西側及び東側には住宅がある。
(2) 関係法令等による地域の指定・規制状況	① 自然環境保全地域等の指定状況	自然環境保全地域（地区）、自然公園地域（区域）、鳥獣保護区の指定の規制はない。
	② 土地利用規制の現況	当該敷地は、市街化区域の第二種住居地域で一部風致地区であるが、農業地域振興法、森林法等の規制はない。

### 3 計画地の自然的条件の現況

(1) 地形・地質	文献調査	文献名	三重県立美術館建築に係る地質調査		
	現地調査の有無	有 <input checked="" type="radio"/> ・ 無 <input type="radio"/> (実施日時 S55.2)		聴取調査の有無	有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/>
	調査結果等	<p>附近の地形を概観すると丘陵地は津駅附近を東端部とし巾 1.5 ～ 2.0km の帯状に北西方向に延長し、北方及び南方は志登茂川及び安濃川を主水系とする解析面丘陵地を挟んで分布する。</p> <p>地質構成は、丘陵地においては第三紀の庵芸層群に相当する固結度の高い泥岩（固結シルト）を主体とした砂層との互層帯より構成される。</p>			
(2) 水象	文献調査	文献名			
	現地調査の有無	有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> (実施日時 )		聴取調査の有無	有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/>
	調査結果等	<p>①河川、湖沼</p> <p>-----</p> <p>②海域</p>			
(3) 気象・大気質等	調査の方法	津気象台等			
	調査結果	<p>気温：年平均気温16.4℃（津気象台）</p> <p>降水量：1600mm/年</p> <p>最多風向：NW</p> <p>風速：月平均最大18.7m/s、最大瞬間風速31.1m/s</p> <p>大気質：（観測地点 津西ヶ丘小学校）</p> <p>SO<sub>2</sub> 0.005ppm、NO<sub>2</sub> 0.013ppm、SPM 0.033mg/m<sup>3</sup></p> <p>水質：（観測地点 志登茂川下流）</p> <p>ph 7.4、DO 6.1、BOD 3.7、SS 9</p>			
(4) 生態系等	文献調査	文献名			
	現地調査の有無	有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/> (実施日時 )		聴取調査の有無	有 <input type="radio"/> ・ 無 <input checked="" type="radio"/>
	調査結果等	<p>①植物</p> <p>植生の概要：芝生及び雑草</p> <p>貴重な植物個体：該当なし</p> <p>貴重な植物群落：該当なし</p> <p>-----</p> <p>②動物</p> <p>動物相の概要：該当なし</p> <p>貴重な動物：該当なし</p>			

(5) 自然景観・文化財等	文献調査	文献名		
	現地調査の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 (実施日時 )	聴取調査の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
	調査結果等 ①自然景観	自然景観の概要： 貴重な自然景観：該当なし		
	②文化財、史跡、名勝等	史跡・名勝・天然記念物：該当なし 埋蔵文化財宝蔵地：該当なし		
	③野外レクリエーション 他	該当なし		
(8) その他、自然災害等	該当なし			

#### 4-2 事業計画の検討内容（複数案比較が実施できない場合）

複数案比較が実施できない理由	現美術館に係る増改築計画のため現有敷地以外では実施できないため。
----------------	----------------------------------

※環境配慮事項ごとに、環境配慮度を◎○-で記入し、その配慮の内容及び配慮度の評価の理由を記入すること。

<b>環境配慮技術指針の配慮目標</b> ①循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築 ②人と自然が共にある環境の保全 ③やすらぎとうるおいのある快適な環境の創造	<b>環境配慮度</b> ◎：十分配慮している。 ○：配慮している。 -：特に配慮する必要がない。
---	--

技術指針に基づく環境配慮事項	環境配慮度	環境配慮の内容 (-の場合は、無記入でも可)	配慮度の評価の理由
①-1 地球温暖化防止	○	熱源機器はすべて更新し、省エネルギー化、運転効率向上を図る。	省エネルギー対応している設備に更新することでエネルギー消費を削減することができる。
①-2 廃棄物対策	-		
①-3 生活環境の保全	○	増築部分について、周辺住宅及び建物の日照について最小限の影響になるよう配慮する。	増築による周辺地域の生活環境への影響に配慮した。
①-4 その他重点事項	○	増築部については、雨水を便所洗浄水系、屋外散水に利用する計画である。	資源の有効な利用を図る。
②-1 野生生物等の生育空間の確保	-		
②-2 希少な野生生物の保護	-		
②-3 地形、地質等の変更の抑止	○	現在の美術館は地形・地質を変更を極力抑えた建築としており増築する部分についても同様に計画している。	収蔵庫棟については、地形の変更を行わず建築する計画である。
②-4 その他重点事項	-		
③-1 緑化、周辺景観との調和	◎	周辺景観に配慮し増築部の高さを現況建物以下とした。また、増築部分の外壁について既存棟と同様のタイルを使用する。	現施設と調和を図るため増築部の高さ及び外観に配慮した計画としている。
③-2 親水等、ふれあい空間づくり	-		
③-3 その他重点事項	-		
④上記以外の特記事項	-		

#### 5-2 事業計画案の環境配慮に係る評価

従来の事業等と比較して優れている点	増築について周辺景観との調和に配慮し、既存建物と同様の外観にすること及び建築の高さについて配慮している。
今後の課題	
会議での調整を要する事柄	